

第2回 刈谷地域リハ・ケアネットワーク作りの会(KRC.net)勉強会に参加して

去る10月16日、2回目となるKRC.net勉強会を約130名もの多くの参加を頂き無事に終えることができました。1回目のテーマ「オープン・KTGH・リハ」の総論的な内容に変わり、2回目ではいよいよ各論です。「What's エンゲ!」というテーマで開催されました。内容は、当院の保田言語聴覚士(ST)から「嚥下の基礎」の講演、同じく当院リハビリテーション専門医の小口医師から、嚥下内視鏡検査の実演、そして嚥下食の試食とグループディスカッション、約2時間で私を含め中高年にはほどよいひとときでした。



今回の内容上、当院STが中心となり準備を進め、私は企画・運営から少し離れた立場で参加しました。当院の嚥下食を囲んでのグループディスカッションの感想と今後の思いを少し綴らせていただきます。



グループの構成は、8名前後で介護支援専門員、介護職員、看護師、歯科衛生士、調理師、医療ソーシャルワーカー、リハビリの療法士(PT・OT・ST)と多種多様で

した。また、グループメンバーが活躍されている所属や地域、経験年数も幅広く多くの意見が飛び交う有意義なものでした。実際に、施設で介護に携わっている方ならではの質問が気軽に出てくる場所を提供できたこともさることながら、その場で解決可能な多くの意見が参加メンバーから出る頼もしい会であることを実感いたしました。



専門職からの基礎的な知識を学ぶ楽しい機会の必要性、そして、グループディスカッションを同様のスタイルで継続していくべきだと強く思いました。私自身が期待することとして、回数を重ね顔と顔がおなじみになる中で、それぞれの現場の意見や情報交換が普段から活発になり、よりよい連携ができることを願いました。

会の開催はちょっぴり準備が大変ですが、職種や所属を越えて当院栄養科や「老健かりや」のSTさんの温かいご協力をいただき、盛況の中、成功裡に終えることができました。その喜びはあっという間であったと思います。

参加して下さった皆さま、準備や講演して下さった皆さま、ありがとうございました。自身もよい企画を提供していかななくてはと思っています。